

奈良川源流域の植物 (2011年6月)



ツククサ 近年は似た形で花の白いノハカタカラクサが優勢になってきた。



ムラサキツククサ 長期間咲き続ける。



コモチマンネングサ ムカゴでもふえる。



ホタルブクロ 関東では赤紫、関西では白が多い。



サルトリイバラ 葉に光沢があり、茎に棘がある。



コオニタビラコ 細い茎先に花1つ。
ヤブタビラコは茎に毛があり花数個。



ヒメシャラ 葉先がとがり、葉脈はあまり明瞭でない。



ナツツバキ 葉先はあまりとがらず、葉脈が明瞭。



マグワ 実は黒熟して食べられる。



ミズキ 葉は互生し5月に開花。



クマノミズキ 葉は対生し6月に開花。



イワダレソウ 葉の上半部に鋸歯があり、円柱状の花穂をつけ、萼はコルク化。



ミソコウジュ 葉は長楕円形で対生し花穂も小枝が対生する。準絶滅危惧種。



キキョソウ 互生した葉の腋に5裂した花をつける。



タチアオイ 背丈より高くなる。葉は葵のご紋。